

総合	豚コレラワクチン県内接種開始	2面
論	検証 あいちトリエンナーレ	4面
総合・国際	エチオピア首相退陣求めデモ	7面
スポーツ	イングランドNZ下し決勝へ	20面
社説	外国人労働者	5面

東 信 食とワイン楽しむ催し  
北 信 中野のグルメを発信  
中 信 児童生徒の美術作品  
南 信 楽しいねタグラグビー

2019年(令和元年)  
**10月27日**  
日曜日

台風19号 関連記事  
県内企業 再開へ一歩 3面  
B2観戦「元氣もらえた」18面  
避難所生活「くたびれた」30面  
通行止め 知っていれば 31面

**台風19号 生活情報** 29・地域面

## 台風19号 81歳男性死亡の佐久・滑津川近く



中島さんと家族が乗っていた車(手前)。付近では複数の車が濁流にのまれた。13日、佐久市中込

# 移動中の車 被災相次ぐ

## 規制の国道から脇道へ その先も通行止め

### 現場に規制伝わらず

台風19号に伴う千曲川支流、滑津川の氾濫で、佐久市中込の中島正人さん(81)が車に乗って避難中に死亡した被災現場では濁流が他の車両にも被害をもたらしたことが26日までに分かった。県警が通行規制した国道交差点から脇道に入ったものの、その先も規制されていくままに通行し、結果的に被災していた。交差点にいた警察官には県道先の規制情報は共有されていなかったことも明らかになった。



中島正人さん

佐久広域連合消防本部は、被災現場付近の杉の木地区で12日夜から13日にかけて、濁流に阻まれた20人を救助。少なくとも5人は車を運転中に被災したという。中島さんが長女の運転する軽自動車と妻と市内の長男宅に避難中だった12日午後6時ごろ、道路冠水のため、滑津川に架かる国道141号中込大橋の前後を通行止めとし、佐久署員1人が現場付近に立ち、通行止めを指示していた。

遺族によると、中島さんは警察官が立っていた中込大橋南の石神交差点から県道小諸中込線に入り、約1.5先の市水道管理センター付近で通行止めの看板を見てUターン。そこに洪水が押し寄せた。同様に石神交差点から県道に入った複数の車の市民らも、県道先の通行止めは知らなかったと話している。

県警交通企画課によると、中島さんを含む複数の車両が進入した被災現場付近は同日午後4時半ごろ、市水道管理センター西側で滑津川の朝日橋付近が用水路からあふれた水で濁ったため通行止めとし、同5時半までに、道路を管理する県の委託業者が通行止めの看板を置いていた。石神交差点では同6時15分ごろ応援の警察官が到着。県道から車で交差点に出てきた人から同センター付近の冠水を聞き、進入しないよう規制したという。同課は、交差点に当初は佐久署員には県道先の通行止め情報は伝わっていなかったと上で、「滑津川氾濫という事実が確認できていない中では規制し方がなかった。対応に不適切な点はなかったと認識している」としている。

### 12日夕の通行止めの状況



# 千葉・福島豪雨死者10人

## 復旧中の河川で越水

### 土砂災害も

### 復旧中の河川で越水

台風19号や低気圧の影響による関東から東北にかけての記録的な大雨で、千葉市緑区の土砂災害現場や福島県相馬市で26日、新たに6人の死亡が確認され、死者は2県で計10人となった。相馬市では1人が行方不明になった。国土交通省によると、千葉や福島など5県の計27河川で堤防から越水するなどの浸水被害が確認された。25日、学校や校外学習先から児童生徒計約1200人が帰宅できず、校舎などに宿泊した。



千葉県では9人が亡くなった。千葉県内では一時1800人の死者が出た。今秋3度目の災害となった。国土交通省は今回の大雨により、台風19号で堤防が決壊した河川のうち福島県の夏井川など4カ所で水があふれ、浸水被害が発生したと明らかにした。いずれも土のうを積み上げる緊急復旧の作業中だった。

千葉県によると、26日午後6時時点で11戸の床上浸水と137戸の床下浸水を確認。県内に乗った軽乗用車が流された。26日朝、市内の砂浜で女性の遺体が見つかったが、息子はと、女性は勤務先のホテル行き、ホテルに戻る途中だった。行方不明。県や市などによる一から自宅にいた息子を捜すに

**信濃毎日新聞**

1873年(明治6年)創刊  
発行所  
信濃毎日新聞社  
長野本社 〒380-8546  
長野市南黒町 657番地  
電話(026)  
発行236-3000編集236-3111  
販売236-3310広告236-3333

松本本社 〒390-8585  
松本市中央 2丁目20番2号  
電話(0263)  
代表32-1200 報道32-2830  
販売32-2850 広告32-2860  
©信濃毎日新聞社2019年

世界の  
きのご屋さんを  
目指して。

**HOKKO**

〒381-8533 長野市南黒138-1  
www.hokko-kinoko.jp

**天気**

最高気温 最低気温

北 部  
6時 12 18 24  
飯山 16  
11 長野 19  
10 大町 17  
8 松本 21  
10 上田 23  
11 佐久 21  
9 諏訪 19  
10 木曾 20  
7 伊那 22  
8 飯田 21  
9

中 部  
6時 12 18 24  
28日 29日 30日

南 部  
6時 12 18 24  
28日 29日 30日

☔ 5%以上 ☁ 5%未満  
27面に詳しい天気情報





# 避難所生活「くたびれた」



「あちこちでせきが聞こえ、ぐっすり寝付けない。くたびれました」。長野市内で最も多い88世帯の27人が避難する豊野西小学校で、滝沢利文さん(64)は話す。

世帯ごとに段ボールのついたで仕切られ、避難者は段ボールベッドの上で寝ている。それでも「体を起こせば嫌でも他人の顔が目に入る」。シャワーを浴びられるのは市内の親戚宅で週に2、3回だが、「せいたくは言えない」とこぼれる。

妻や息子と3人で避難している小野沢正一さん(65)は「携帯電話に電話があっても周りに迷惑を掛けてはいけなないので外で電話をしている」。昼間は自宅アパートの片付けで疲れたがたまっているはずな被災2週間を迎える豊野西小の避難所。26日午後3時14分、長野市豊野町

## 台風19号による氾濫から2週間

### 「寝付けない」「生活再建が不安」

台風19号の記録的な大雨で千曲川が氾濫してから2週間。県災害対策本部によると、26日時点で長野、須坂市など6市町では992人が避難所生活を続ける。慣れない共同生活の窮屈さ、生活の再建が見通せない中での不安。被災者の姿からは疲れがにじむ。

# 災害ごみ連携し搬出

## 長野市・ボランティア・自衛隊



長野市とボランティア団体などで浸水した市内の被災体、自衛隊は26日、台風19号地域から大量の災害ごみを協同して搬出する取り組みを始めた。地域のあちこちにまき散らされたごみを、ボランティアが日中に2カ所の集積場に集約。午後7時ごろから自衛隊員ら約120人が重機で大型トラックに積み込み、市郊外へと搬出した。27日も続ける。

一帯が浸水した同市長沼豊野地区では、使えなくなったたんすや畳、布団などが道路脇に数十センチにまき散らされ、「勝手置き場」と呼ばれている。山積する災害ごみの処理は大きな課題で、今回はボランティアの参加が多く見込まれる週末に本格的に減らす狙いで実施。ボランティアと行政、自衛隊の連携を「ワンナガン」と名付けて臨んだ。

市災害ボランティアセンターによると、この日は一般の重機を使ってごみを搬出する自衛隊のトラック26日午後8時17分、長野市赤沼

めた。地域のあちこちにまき散らされたごみを、ボランティアが日中に2カ所の集積場に集約。午後7時ごろから自衛隊員ら約120人が重機で大型トラックに積み込み、市郊外へと搬出した。27日も続ける。

## 学用品や服 長野で譲渡会



長野市PTA連合会は26日、台風19号で被災した市内の小中学生や保護者を対象に、使わなくなった学用品や洋服などの譲渡会を同市の更北公民館真島分館で開いた。同市豊野西小学校の保護者ら

ボランティアが運転する軽トラック約80台が参加。長沼地区にある赤沼公園と大町交差点近くの集積場にごみを集めた。点検する「勝手置き場」の場所やごみの量を、参加者が無料通信アプリ「LINE(ライン)」を通じて情報共有し、効果的な片付けにつながった。

その後、全国清掃事業連合会(東京)に加盟する清掃事業者が集積場から家電などを分別して運び出し、交通量が少なくなる夜間になって自衛隊が活動を開始。投光器に照らされた集積場一帯には、ごみを破砕したり移動させたりする音が響いた。

活動に加わった沖繩県の災害NGO代表、前原土武さん(41)は「災害ごみの撤去は、住宅の再建や地区の復興に向けて最優先の作業。ごみがなくなった景色を見て、被災者に前向きな気持ちになってほしい」と話した。

「あちこちでせきが聞こえ、ぐっすり寝付けない。くたびれました」。長野市内で最も多い88世帯の27人が避難する豊野西小学校で、滝沢利文さん(64)は話す。

世帯ごとに段ボールのついたで仕切られ、避難者は段ボールベッドの上で寝ている。それでも「体を起こせば嫌でも他人の顔が目に入る」。シャワーを浴びられるのは市内の親戚宅で週に2、3回だが、「せいたくは言えない」とこぼれる。

妻や息子と3人で避難している小野沢正一さん(65)は「携帯電話に電話があっても周りに迷惑を掛けてはいけなないので外で電話をしている」。昼間は自宅アパートの片付けで疲れたがたまっているはずな被災2週間を迎える豊野西小の避難所。26日午後3時14分、長野市豊野町

218人が避難する同市三才の北部スポーツ・レクリエーションパークに身を寄せる滝沢典夫さん(86)も「避難所は快適で困ったことはない」としつつ、将来が見通せない日々が辛い。自宅のほか手掛けていたリンゴ畑を立て直せるか。「どうすればいいかわからない」

豊野西小の避難所の市担当者によると、「夜眠れない」「血圧が上がった」などと体調不良を訴える人は特に近年寄りに多い。100人が避難する同市吉田の長野運動公園などでは、精神科医による心の悩みの相談や血糖値に関する相談の時間を設定。ただ、「被災した自宅の片付けで日中は出掛ける人が多く、利用者が少ない」(担当者)という。

同市松代温泉の男性(35)は自宅が床上浸水。小学1年の長女が使う鍵盤ハーモニカや服、学習用のノートがぬれて使えなくなったといい、譲渡会は「ありがたい」。小学1年の長女らの服が浸水で泥だらけになったという同市穂

と、学区外を含めて呼びかけたのがきっかけ。会員制交流サイト(SNS)を通じて協力を求めたところ、必要数を大幅に上回る品が寄せられ、他地区で被災した子どもにも譲ろうと今回の催しを企画した。

# 通行止め 知っていれば

## 冠水した方向へ車次々―濁流に

### 警察や県 対応しきれず

激しい雨がたたきつけ、被災情報が飛び交っていたあの夜。車で避難中の1人が亡くなった佐久市中込の滑津川氾濫現場で何が起きていたのか。混乱の中、通行規制に奔走した県警や県、車ごと濁流にのまれた人々、その救助に当たった消防隊員らの証言に耳を傾けたい。【1面参照】

#### 証言

## 佐久・石神交差点で何が

周りの音が聞き取れないほどの雨が降り続いていた。佐久市街地を南北に貫く国道141号の中込大橋。その南にある石神交差点付近が冠水したとの連絡で、12日午後5時22分ごろ、佐久署員が交差点に着いた。同市日田地区の災害現場から4人が駆け付けた。

普段は稲刈りを迎えた田んぼが広がるのかな場所。だがこの日は、近くの滑津川周辺の街が明るい時間帯から水に漬かっているのを記者も確認していた。所々で濁流が堤防を越え始めていたとみられる。4人は各所の規制に散った。状況が変わったのは6時ごろのことだ。



被災当夜の石神交差点(右奥) 近くの国道。堤防が決壊した東側から西へと洪水が流れ込んだ。12日午後6時26分(佐久広域連合消防本部提供)

交差点に近づいた市内の会社員男性48人は警察官が立っているのに気づき、何事かと尋ねた。「この先は冠水している。右か左かどちらかへ行ってください」。その言葉に、中込大橋北にある自宅への最短ルートとなる県道小諸中込線へと左折し、被災現場の杉の木地区へと進んだ。別の車を運転していた市内の主婦(61)も県道へと左折した。県警は警察官が一手を頭上で左

また、石神交差点北が洪水にのまれ始めた午後6時。県警は道路を管理する県佐久建設事務所へ電話で情報を伝えた。だが、同事務所にその記録は残っていない。この連携がうまくいっていれば、未然に県道の通行規制範囲を広げ、車両の進入を防ぐことはできたろうか。

この日、佐久地方では千曲川や支流で護岸崩落や道路冠水が相次ぎ、佐久署には次々と災害情報もたらされていた。100人余の態勢で規制に走り回る状況下、県警の担当者、県道の規制箇所が交差点から約1キロ離れ、その間に多くの住宅も脇道もあることから、「仮に情報共有や連携ができたとしても、県道自体を規制するのは物理的に無理だった」とする。

ただ結果的にせよ、死者が出たことを「重い結果」と受け止める県警は、「今後、道路管理者とも連携して災害にどう備えるか検討していかなくてはいけない」。同事務所も「警察と一緒に対応している」とする。「通行止めだと分かっているれば交差点を県道に左折することはなかった。氾濫に巻き込まれた男性は、九死に一生を得た当時をそう振り返った。

## 千曲川氾濫

JR飯山線は26日、全区間(豊野―越後川口)で通常運行を再開した。台風19号の影響で不通となっていた豊野―戸狩野沢温泉間が復旧し、2週間ぶりの列車運行。飯山市の飯山駅では会社員やお年寄り、中高生らが乗降し、「生活の足」の回復を喜んだ。

## 飯山線 全区間で再開

### 2週間ぶり 生活の足回復「助かる」



全線で運転再開したJR飯山線の飯山駅で、列車に乗り降りする人たち=26日午前10時2分、飯山市



長野市の銀行員、中野岳志さん(25)は飯山市内への通勤で午前7時台に列車を降りた。連休中は車を使っていた。発から全線で通常運行を再開する。小海線は野辺山―小淵